

石川県政記念しいのき迎賓館 中期経営目標

(実施期間 平成28年度～平成32年度)

平成28年3月 策定

1 施設の設置目的

多種多様な文化を創造するとともに、学术交流の推進等を図ることを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

石川県政記念しいのき迎賓館は、天然記念物である堂形のシイノキと一体となった大正時代の格調高い姿と、現代的な空間が融合した建物であり、多種多様な文化の創造と、学术交流等により、新たな価値を創造し、兼六園周辺文化の森の魅力向上と賑わい創出に寄与することをその役割としています。

3 事業内容

(1) 文化事業（指定管理者の企画運営による展示やイベント）

ギャラリーでの企画展や屋内外でのイベントを実施しています。

(2) 案内業務

兼六園周辺文化の森の各施設等の情報提供を行っています。

(3) 貸館事業

ギャラリー、ガーデンルーム(会議室)、セミナールーム等の貸館を行っています。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・石川県政記念しいのき迎賓館では、民間ノウハウを活用して、効率的・効果的に施設を管理するため、指定管理者制度を開館時(平成22年度)から導入しています。
- ・施設における展示及び催物の企画及び運営、利用促進、施設・設備及び備品の維持管理及び修繕などの業務を指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である平成28年度から平成32年度までは、「KCSコンソーシアム」を指定管理者として指定しています。
- ・指定管理者による適切な管理運営を行うため、県と指定管理者による連絡会などを随時開催し、管理業務に関する情報交換に努めています。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・指定管理者の企画運営により、展示や屋内外での各種イベントを積極的に実施することで、今まで多くの方々にご来館いただいておりますが、さらなる賑わい創出につながるため、創意工夫を凝らしていく必要があります。
- ・ギャラリーやガーデンルーム（会議室）などの貸館利用の促進のため、PRや営業活動などを実施しておりますが、さらに多くの方々に利用していただくため、より一層、取り組みを強化する必要があります。
- ・案内業務として、1階の「しいのきプラザ」の総合案内において、チラシや大型ディスプレイにより、兼六園周辺の文化施設や県内各地でのイベントを紹介しているほか、英語や中国語に堪能なコンシェルジュを配置し、来館される国内外の観光客のニーズに応じた情報を提供しております。宿泊、食事、交通手段をはじめとした多様な観光情報を、来館者が分かりやすくかつ容易に入手できるよう、情報を自由に検索できるタブレット型コンピュータを設置するなど、情報発信機能の強化に努めておりますが、さらに多くの利用者ニーズにお応えできるよう、これまで以上に情報提供に努める必要があります。
- ・広報活動として、周辺施設、観光案内所、市内ホテル等に対するパンフレットやイベント案内の配布、ホームページ（英語版含む）やコミュニティ型のインターネットサービスであるSNS（フェイスブック・ツイッターなど）の活用による展示・イベント情報や周辺施設情報などの発信を行っているほか、新聞・フリーペーパー・旅行雑誌などへの情報提供・掲載を行うなど、積極的な情報発信を行っておりますが、より多くの方々にご来館いただけるよう、今後とも情報発信の充実を図り、認知度の向上に努める必要があります。

(3) 施設運営の効率化について

- ・施設の維持管理については、安全・安心を第一に、入館者が快適に過ごせる環境を提供しているほか、照明や空調の効率的な管理による省エネルギーや節電への取り組みを実施しております。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ① 利用者数を5年間で525,000人にします。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

(2)測定指標と目標値

測定指標		実績値(H26)	目標値(H32)
①	利用者数	447,202人	525,000人
②	利用者サービス	98.3%	95%以上
	トにおける満足度 施設の維持・管理	100%	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・都心部の賑わいづくりのため、周辺施設や商店街、大学等とこれまで以上に連携し、幅広い世代が楽しめるフィールドワークや野外での美術展の開催など、屋外イベントのさらなる充実を図るほか、「兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク」をはじめとするイベントの集中期間において、しいのき迎賓館としてもより積極的にイベントに参加していくと同時に、各文化施設を周遊するイベントの開催も検討するなど、兼六園周辺エリアの回遊性を向上させる取り組みを進め、さらに多くの方々にご来館いただけるよう努めます。
- ・貸館利用の促進については、リピーターの確保のみならず、新規利用者の開拓に向け、金沢コンベンションビューローとより一層連携していくほか、今後は新たに、全国的なイベントやコンベンションの情報誌への情報掲載や、広告・旅行代理店に対する営業活動を行うなど、積極的な情報発信に努めます。
- ・中心市街地や兼六園周辺文化の森における総合案内としての役割を踏まえ、周辺マップや文化施設のパンフレットの設置・配布、コンシェルジュの案内による情報発信、周辺施設の共通利用券の販売・PR、共同による広報(チラシ・看板)の実施など、周辺エリアのさらなる利用促進に努めます。
- ・広報活動については、ホームページやフェイスブックのリニューアルをはじめ、現行リーフレットのほか、新たに案内カードを作成し、周辺施設(飲食店など)に配布・設置するなど、広報活動の充実を図ります。
- ・来館者を受け入れるおもてなしの体制をさらに強化するため、外国人来館者への対応として、案内サインやイベント案内に外国語表記を導入するほか、事務局職員の外国語研修や非常時(病気、怪我、事故)の英語版Q&Aシートの作成など、さらなるサービスの向上に努めます。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・施設を常に快適で安全に利用していただくため、日常及び定期の点検などに加え、各種機器等の予防保全により、使用中での故障防止や劣化の抑制に努めます。

- ・また、照明のLED球への順次交換や、一部設備機器の運転時間を業務に支障のない範囲（夜間など）で削減することにより電力使用量を抑制するなど、引き続き、照明や空調の効率的な管理を実施していきます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)指標(利用者数の状況)

項目	H24	H25	H26
利用者数	477,605 人	472,867 人	447,202 人

(2)使用承認の状況

項目	H24	H25	H26
貸館	4 1 3 件	4 1 6 件	4 2 7 件
駐車場(入庫台数)	6 4, 4 2 6 件	6 4, 2 4 3 件	5 4, 1 4 1 件

(3)使用料の収入実績

項目	H24	H25	H26
貸館使用料	9,965 千円	10,110 千円	10,224 千円
駐車場使用料	32,376 千円	31,272 千円	29,148 千円
計	42,341 千円	41,382 千円	39,372 千円